

【コース設計を行う日本語教師向け研修】

新制度にどう対応する？ 育成就労モデルカリキュラムの活用と効果的なコース運営

研修概要

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、厚生労働省の委託を受け、2027年度施行される育成就労制度に向けた日本語教育モデルカリキュラム(A1相当講習、A2目標講習)を開発しました。本モデルカリキュラムのうち、「A2目標講習」に焦点をあて、現場に応じた効果的な活用、コース設計・立ち上げを検討するための日本語教師向け研修(全4回)を開催します。

■ 研修の目的・目標

本研修は、育成就労制度にて、「A2目標講習」のコース設計を担う日本語教師を想定した研修です。「A2目標講習」への理解を深め、各教育現場での効果的な活用方法の検討、コースの立ち上げおよび運営の課題検討等を促すことを目的としています。また、カリキュラムの活用検討・意見交換をとおして、就労分野の日本語教師同士の繋がりを深めます。

本研修では、以下のような方を想定して、研修内容を構成しております。

- 学習者の背景やコース運営の前提となる基礎的な知識を有する方
(法制度、日本語教育の参照枠への一定の知識を含む)
- コース運営のための技能をお持ちの方
(コース設計の経験、現場に応じた調整・教員指導)
- 学習者と日本語教師、職場関係者と協力しながら、相互理解を深めていける方

※A2目標講習を対象としています。A1相当講習は本研修では取り扱いません。

■研修スケジュール・テーマ

ZOOMを使用した同期型研修(全4回)

- 期間: 2026年11月25日～12月16日
- 曜日・時間: 毎週水曜日19:30～21:00(90分)

	日程	テーマ	内容
第1回	11月25日(水) 19:30～21:00	・カリキュラム運営の課題 ・モデルカリキュラムの理解1	①カリキュラム運営に必要なスキルとは ②モデルを活用したコース立ち上げのヒント
第2回	12月2日(水) 19:30～21:00	・モデルカリキュラムの理解2 ・現場活用のポイント	①モデルカリキュラムへの理解を深める ②モデルシラバスを深掘りする
第3回	12月9日(水) 19:30～21:00	モデル活用における課題の整理	①コース立ち上げにおける課題 ②コース開始後の運営・改善に向けた課題
第4回	12月16日(水) 19:30～21:00	モデルを活用したコース運営計画	①活用計画の共有 ②研修まとめ・事例紹介

■受講料

一般:24,200円(税込)／JICE日本語講師22,000円(税込) ※以下指定テキスト代別途

- 下記テキストを使用します。お持ちでない方は事前各自でご購入をお願いいたします。

はたらくための日本語 職場のコミュニケーションⅡ 2,200円(税込)

- テキストは、書店またはオンラインでご購入可能です。多言語翻訳つきのテキストです。
お好きな言語版で構いません。オンラインでご購入の場合は、こちら(凡人社HP)へ↓。

<https://www.bonjinsha.com/goods/index/index/page/1?pt=4>

■受講要件

日本語教師【養成】を修了した方で、以下の2つすべてに該当する方。

- ① 育成就労外国人向けの日本語講習を実施予定で、コース設計を行う方
- ② 全4回の研修に参加でき、研修期間中の課題に取り組める方

■定員: 20名

■修了証

以下を満たした方には修了証をお渡しいたします。

- 研修出席率 80%以上(時間換算)
- 最終課題の提出

■事前課題のご案内

本研修を受講する際の事前学習として、厚生労働省が開催する、「育成就労制度における日本語講習モデルカリキュラム講習会(A2 目標講習)」(2026年10月24日10:00-11:30)を視聴いただくことを推奨します。

※講習の事前視聴ができない場合は、本研修の開始までに、モデルカリキュラムをご確認ください。

■留意点

- 同期型研修では、パソコン、カメラ、マイクをご用意ください。
スマートフォン、タブレットからの受講は、資料の共有などの観点からお勧めできません。
- 本研修は講師による一方的な講義形式ではありません。
グループワークも取り入れながら、学びを深めていただくことを前提としています。
- 必ずビデオをオン(ご自身の顔が見える状態)にしてご参加ください。ただし、個人情報や通信環境のために困難な場合はご相談ください。
- 本研修は運営上の記録のために録画します。録画には受講者の顔が記録されますが、事後の配信を含め、公開や第三者への提供はいたしません。
- ご欠席の場合も、後日の録画配信はいたしません。
- 研修に参加するための通信機器や通信料については個人負担になります。
- 申込者様のこれまでのご経験や目標等を鑑み、今回の受講のお断りや別研修のご案内をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

■申込方法: こちらの[申込フォーム](#)にアクセスして、お申込みをお願いします。

※申込内容(ご経験や参加の動機、育成就労制度対応のご予定など)をJICEにて確認し、後日受講の可否をお知らせいたします。

※受講希望者多数の場合、受講をお断りする・次回以降の研修をご案内する可能性がございますので、

予めご承知おきください。

■締め切り：2026年11月11日(金)

※定員を満了次第、締め切る場合がございます。

■問い合わせ先

一般財団法人日本国際協力センター（JICE・ジャイス） 多文化共生事業部

JICE 日本語教育・就労支援センター 日本語教師研修担当

Tel:03-6838-2736

お問い合わせはこちらから → <https://forms.cloud.microsoft/r/EhRqrWF04E>

■一般財団法人日本国際協力センター（JICE）について

- JICE ホームページ：

<https://www.jice.org/>

※認定日本語教育機関(就労)「JICE 日本語教育・就労支援センター」の活動：ホームページ内、「多文化共生・日本語教育」のアイコンよりご覧いただけます。

- JICE 日本語教師 Facebook：

<https://www.facebook.com/jice.nihongo.edu/following/>

